

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 朝日放送株式会社

コード番号 9405 URL <http://asahi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 克信

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 沖中 進

TEL 06-6458-5321

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	57,485	△6.2	1,760	—	1,916	—	1,333	—
21年3月期第3四半期	61,275	—	△556	—	△484	—	△1,782	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	318.83	—
21年3月期第3四半期	△426.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	93,761	54,300	54.9	12,297.15
21年3月期	95,965	53,152	52.6	12,056.51

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 51,442百万円 21年3月期 50,435百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
22年3月期	—	45.00	—		
22年3月期 (予想)				55.00	100.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,800	△5.6	2,100	—	2,200	—	1,400	—	334.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 4,183,300株 21年3月期 4,183,300株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 40株 21年3月期 40株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 4,183,260株 21年3月期第3四半期 4,183,260株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提につきましては5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## (参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 63,800 △5.5	百万円 % 1,200 —	百万円 % 1,200 —	百万円 % 900 —	円 銭 215 14

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)の日本経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、輸出・生産など一部では持ち直しの動きがみられましたが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境は当社グループが主力事業を展開する放送業界にも深刻な影響を与え、テレビ・ラジオ媒体に対する広告出稿量が前年同期の実績を下回り、主力のスポットセールスをはじめネットワーク番組やローカル番組のタイムセールスなども低調に推移しました。

また、新型インフルエンザの集団感染が発生し、当社グループでもイベントの中止やゴルフ場のコンペ予約キャンセルなど、少なからぬ影響を受けました。

こうした厳しい状況のなか、当社グループでは好調なテレビ視聴率・ラジオ聴取率を背景に積極的な営業活動を行ない売上確保に努力しましたが、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上面では主力の放送事業をはじめ各セグメントにおいて減収となり、売上高は574億8千5百万円と、前年同期に比べ37億8千9百万円(△6.2%)の減収となりました。

費用面では、前年同期に計上された当社および連結子会社3社の新社屋への移転に際する一時費用が減少するとともに、さらなる業務改善による費用の圧縮を実施したことにより売上原価は387億2千1百万円と前年同期に比べて34億1千4百万円(△8.1%)の減少、販売費及び一般管理費については170億3百万円と26億9千3百万円(△13.7%)の減少となりました。

以上の結果、営業利益は17億6千万円となり前年同期に比べ23億1千7百万円の改善、経常利益は19億1千6百万円となり24億円の改善となりました。

また、特別利益として投資有価証券売却益を5億2千1百万円計上し、特別損失を6百万円計上した結果、四半期純利益は13億3千3百万円となり、前年同期と比べて31億1千6百万円の改善となりました。

## 2. セグメント別の状況

## [放送事業]

放送事業の売上高は505億7千5百万円で前年同期に比べ32億7千7百万円(△6.1%)の減収となりました。

放送事業では景気低迷の影響により極めて厳しいセールス状況が続きました。テレビ放送事業収入は、ネットワーク・ローカル番組ともレギュラー番組のセールスが低調に推移するとともに単発番組の本数減がありタイム売上が減少しました。また、全国的なスポット広告出稿量減少の影響でスポット売上も減少したため前年同期に比べ減収となりました。ラジオ放送事業収入は、ローカル番組のセールスが低調でタイム売上が減少したことなどにより前年同期に比べ減収となりました。その他の売上は、イベントなどの催物収入が増加したことなどにより増収となりました。

費用の面では、新社屋への移転に伴う一時費用が減少したほか、業務改善によるコスト圧縮やテレビ・ラジオの番組編成を見直すことなどで費用の削減を実施したことで営業利益は11億3千7百万円となり、前年同期と比べ24億7千9百万円の改善となりました。

## [ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は61億8千8百万円で前年同期に比べ4億5千9百万円(△6.9%)の減収となりました。

ハウジング事業では景気低迷の影響で、住宅展示場における出展メーカーの一部撤退などがあり前年同期に比べ減収となりました。

費用の面では、住宅展示場における運営コストの見直しなどを行ないましたが、営業利益は5億5千3百万円となり、前年同期と比べ1億6百万円(△16.1%)の減益となりました。

## 〔ゴルフ事業〕

ゴルフ事業の売上高は7億2千1百万円で前年同期に比べ5千2百万円(△6.8%)の減収となりました。

ゴルフ事業では、景気悪化の影響で営業的に厳しい状況が続くなか、京阪神地区などで発生した新型インフルエンザの集団感染の影響によりコンペ予約のキャンセルが相次ぎ前年同期に比べ入場者数が減少したことなどにより減収となりました。

費用の面では、さらなるコスト圧縮に努めましたが、営業利益は6千9百万円となり、前年同期に比べ5千5百万円(△44.5%)の減益となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億8百万円減少し262億1千3百万円となり、固定資産合計は7億4百万円増加し675億4千8百万円となりましたので、資産合計は22億3百万円減少し937億6千1百万円となりました。

流動負債合計は24億5千8百万円減少し110億3千5百万円となり、固定負債合計は8億9千3百万円減少し284億2千5百万円となりましたので、負債合計は33億5千1百万円減少し394億6千万円となりました。

また、純資産合計は利益剰余金が増加したことなどにより11億4千7百万円増加し543億円となりましたので、負債純資産合計は資産合計と同じく22億3百万円減少し937億6千1百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては平成22年2月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①簡便な会計処理

## 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

## ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,086	7,329
受取手形及び売掛金	12,371	11,496
有価証券	3,449	5,493
番組勘定	911	1,051
その他	1,411	3,759
貸倒引当金	△17	△9
流動資産合計	26,213	29,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,332	24,951
土地	10,596	10,644
その他(純額)	12,089	13,517
有形固定資産合計	47,018	49,113
無形固定資産		
のれん	108	133
その他	1,551	1,646
無形固定資産合計	1,660	1,779
投資その他の資産		
投資有価証券	10,482	7,156
その他	8,410	8,818
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	18,869	15,950
固定資産合計	67,548	66,843
資産合計	93,761	95,965

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	400	700
1年内返済予定の長期借入金	2,040	3,190
未払金	5,195	6,276
未払法人税等	161	104
引当金	261	13
その他	2,976	3,209
流動負債合計	11,035	13,493
固定負債		
長期借入金	2,035	2,060
退職給付引当金	11,138	10,801
引当金	45	57
負ののれん	387	516
その他	14,818	15,883
固定負債合計	28,425	29,319
負債合計	39,460	42,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	41,939	40,981
自己株式	△0	△0
株主資本合計	50,848	49,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	593	544
評価・換算差額等合計	593	544
少数株主持分	2,858	2,717
純資産合計	54,300	53,152
負債純資産合計	93,761	95,965

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	61,275	57,485
売上原価	42,136	38,721
売上総利益	19,139	18,763
販売費及び一般管理費	19,696	17,003
営業利益又は営業損失(△)	△556	1,760
営業外収益		
受取利息	63	21
受取配当金	117	93
負ののれん償却額	128	128
その他	51	108
営業外収益合計	361	352
営業外費用		
支払利息	182	178
固定資産処分損	94	12
その他	11	6
営業外費用合計	288	197
経常利益又は経常損失(△)	△484	1,916
特別利益		
有形固定資産売却益	56	—
投資有価証券売却益	—	521
特別利益合計	56	521
特別損失		
有形固定資産売却損	—	6
投資有価証券評価損	1,095	—
本社移転費用	241	—
その他	37	—
特別損失合計	1,374	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,802	2,430
法人税等	△181	940
少数株主利益	160	156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,782	1,333

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

## (4) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	放送事業 (百万円)	ハウジング 事業 (百万円)	ゴルフ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,852	6,648	774	61,275	—	61,275
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	349	63	54	467	(467)	—
計	54,202	6,711	829	61,743	(467)	61,275
営業利益又は営業損失(△)	△1,341	660	124	△556	—	△556

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	放送事業 (百万円)	ハウジング 事業 (百万円)	ゴルフ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,575	6,188	721	57,485	—	57,485
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	250	44	38	334	(334)	—
計	50,826	6,233	760	57,820	(334)	57,485
営業利益	1,137	553	69	1,760	—	1,760

(注) 1 事業区分は、同一事業系列に属する連結会社を集約して区分しております。

2 各事業の主な内容

(1) 放送事業 テレビ、ラジオ放送事業及び関連事業

(2) ハウジング事業 住宅展示場運営事業及び関連事業

(3) ゴルフ事業 ゴルフ場運営事業

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

## (参考) 個別業績の概要

## 1. 平成22年3月期第3四半期の個別業績 (平成21年4月1日 ~ 平成21年12月31日)

## (1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	48,380	△6.2	1,046	—	1,056	—	895	—
21年3月期第3四半期	51,583	—	△1,325	—	△1,320	—	△2,051	—

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年3月期第3四半期	78,110	49,278
21年3月期	79,968	48,718

(注) 個別経営成績 (累計) 及び個別財政状態の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 2. 個別売上高の内訳 (累計)

	前第3四半期 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	当第3四半期 自平成21年4月1日 至平成21年12月31日	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	10,010	9,121	△889	△8.9
スポット	25,704	24,517	△1,186	△4.6
番組収入	8,899	8,181	△717	△8.1
計	44,614	41,821	△2,793	△6.3
ラジオ放送事業収入				
タイム	1,231	1,025	△206	△16.8
スポット	998	931	△67	△6.7
番組収入	430	259	△171	△39.8
計	2,660	2,215	△445	△16.7
その他	4,308	4,343	34	0.8
合計	51,583	48,380	△3,203	△6.2